

## □ 8月全校集会（放送による）

みなさん、おはようございます。夏休みが終わり昨日から学校が始まっています。この夏休み、みなさんどうすごしましたか。4年生は「自己発見チャレンジ」がありました。いろいろな人と出会い学ぶことがあったのではないのでしょうか。6年生は自己の進路に向けて、一人ひとりが計画を立て取り組んだことと思います。また、合宿やコンクール、部活動の日々の練習など生徒のみなさん一人ひとりが有意義な時間をすごしたことと思います。

残暑きびしいこのごろですが、夕方ふときがつくと、せみの声に混じり虫の音が聞こえてきます。9月は暦の上では秋。秋は学びの季節、読書の秋でもあります。

本校では「主体的・対話的で深い学び」を柱として授業を行っています。この「対話的」というのはもちろん人と人との対話もありますが、本、書物と向き合う対話の意味もあります。夏休み、いつもより多く本を読んだ生徒の皆さんも多いと思います。よく、国語の文学では行間を読むということをいいます。言葉を理解するだけでなく、文字となって表れた心情や、情景で書かれていることから心情を読み取るなどがあります。ことば、文章はそんなさまざまな事柄や心情を表しています。評論文では、筆者が自己の考えを明らかにするために、言葉にして文章にして積み重ねていきます。その一つ一つを丁寧に読み取っていくことで、筆者の考えを理解していくのです。論理的な思考力も身につくのです。この「読む力」というのは私たちが学ぶ上で、とても大切な力なのです。

今年度初めて、1年生から5年生までは「リーディングスキルテスト」という、自分の読む力をはかるテストを実施します。テストといっても、自己の何ができて何をこれから身に付けていけばよいかをはかるものです。言葉の意味を理解するだけではなく、文章を読み物事を把握する力、真の読む力をはかるものです。コミュニケーション力ということでは、「聞く力」がよく言われますが、この「読む力」も相手を理解して対話する上ではとても大切なものです。これから学ぶ上で「読む力」を身につけていくことも考えてみてください。

そして、学びに真摯に向き合える時間が、この中等教育学校の6年間です。学校生活に真摯に向き合えば向き合うほど、さまざまいろいろなことに思い悩むことも多くなることでしょう。その時には、友達に話をするなどで解決することもあるでしょうが、一人で悩みを抱え込まずに担任や学年の先生、部活動の先生、養護教諭の先生、スクールカウンセラー、そして皆さんのことを一番に考えている家族に相談してください。周囲の信頼できる人に相談することはとても大切なことです。また、「24時間SOSダイヤル」などの県や市町村の外部機関に相談することも有効です。

では、これから蒼碧祭文化部門、5年生は研修旅行、芸術祭合唱部門・展示部門など楽しい行事が続きます。「次世代を担うリーダー」として3つの心「挑戦する心」「思いやる心」「感謝する心」を大切に充実した学校生活を送ってください。これで校長の話を終わります。

## □ 蒼碧祭文化部門お礼

無事、2日間終えることができました。蒼碧祭文化部門パンフレットにも書きましたが、「生徒一人一人が輝く」「進化し深化する」文化部門が実施できたのではないかと思います。

文化部門実行委員をはじめ、生徒会本部役員、美化委員会や各委員会の委員の皆さんの活躍はいうまでもありませんが、8908名の来校者を迎えて、楽しく充実した文化部門を実施できたのは、生徒の皆さん一人ひとりが、自己の場所で力を発揮できたからだと思います。また、休憩場所を作ったり、優先席ができていたり来校者のことを考えた取組がありました。開会式では、「おもてなしの心」といいました。自己が楽しむ、仲間と楽しむ、来校された皆さんと楽しむ、楽しませるということです。生徒の皆さん、文化部門を一つのステップとしてまた、学校生活を有意義に送ってください。

最後になりますが、PTAの役員の方をはじめ、ボランティアの皆さんご協力ありがとうございました。また、来校された多くの皆さま、スムーズな運営にご協力ありがとうございました。今後とも相模原中等教育学校へのご支援とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。